

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 1 日(2025.4.1)

【公開番号】特開 2022-164624(P2022-164624A)
【公開日】令和 4 年 10 月 27 日(2022.10.27)
【年通号数】公開公報(特許)2022-198
【出願番号】特願 2022-67238(P2022-67238)
【国際特許分類】

A 0 1 N 3 1 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

A 0 1 P 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 0 1 N 2 5 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

A 0 1 N 3 1 / 0 2

A 0 1 P 1 / 0 0

A 0 1 N 2 5 / 0 6

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 24 日(2025.3.24)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A 1) 沸点が 2 2 0 以下で、炭素数 2 ~ 4 のジオール 4 0 ~ 9 0 質量 % 及び水 1 0 ~ 6 0 質量 % 含有する組成物を、ウイルス汚染が懸念される物体表面に噴霧する、ウイルス不活化方法。

【請求項 2】

30

噴霧方式が非加熱方式である請求項 1 記載のウイルス不活化方法。

【請求項 3】

加圧空気霧化噴霧装置、霧化装置及び拡散装置のいずれかから選ばれる噴霧器を用いて噴霧する、請求項 1 記載のウイルス不活化方法。

【請求項 4】

前記噴霧器の噴出口から噴霧方向に 1 5 c m の地点における噴霧粒子の平均粒子径が 5 μ m 以上 5 0 0 μ m 以下である、請求項 3 記載のウイルス不活化方法。

【請求項 5】

組成物が 0 . 1 g ~ 5 0 0 g / 分の量で噴霧される、請求項 1 記載のウイルス不活化方法。

40

【請求項 6】

組成物を非加熱の状態では物体に噴霧する際、組成物を噴射する噴出口と物体との距離が 3 m 以内である請求項 2 記載のウイルス不活化方法。

【請求項 7】

ウイルスがエンベロープを有する R N A ウイルスである請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載のウイルス不活化方法。

【請求項 8】

A 1) 沸点が 2 2 0 以下で、炭素数 2 ~ 4 のジオール 4 0 ~ 9 0 質量 % 及び水 1 0 ~ 6 0 質量 % 含有する組成物を担体に噴霧し、空間中の A 1) 沸点が 2 2 0 以下で、炭素数 2 ~ 4 のジオールの濃度が 2 0 p p m 以上となるように該担体から組成物を気化させる

50

、対象空間のウイルス不活化方法。

【請求項 9】

液噴霧用ウイルス不活化組成物であって、A 1) 沸点が 220 以下で、炭素数 2 ~ 4 のジオール 40 ~ 90 質量% 及び水 10 ~ 60 質量% 含有する組成物。

【請求項 10】

さらに A 3) アルキルグリセリルエーテルを含有する請求項 9 記載の組成物。

【請求項 11】

さらに沸点が 120 以上 260 以下の香料を含有する請求項 9 記載の組成物。

【請求項 12】

組成物の 20 における粘度が 2 ~ 40 mPa・s である請求項 9 ~ 11 のいずれか 1 項記載の組成物。 10

20

30

40

50